

自己評価票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|-------------------|--------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | | |
| | 和(すこやかに・ゆたかに・なごやかに・あんしん・いたわり・やさしさ)の理念の下 利用者の人格・人権を尊重します サービスに利用者の意思を尊重します 健康・安心・豊かなサービスを提供し 抑制の無いやさしい介護をめざします を方針としてその人らしく生活できるよう支援している | | |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | | |
| | 理念に基づき個別介護計画を作成、職員全員がサービスを提供する事で理念の実践に取り組んでいる。職員全員名札に「理念」を保持し就業前必ず目を通し意識して仕事に臨むようにしている 職員会議等で理念の実践に向けて取り組んでいる | | |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | | |
| | 各フロア・玄関に掲示、また広報誌にも掲載し家族や地域の人に理解して頂けるようにしている またご家族に理念に基づいた介護援助計画をご理解頂いている | | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | | |
| | いつでも立ち寄って頂けるよう声をかけ合ったり挨拶を交わしている 可能な限り散歩等に出かけており、その際近隣の方と気軽に挨拶を交わしている | | |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | | |
| | 施設主宰の盆踊り・花火等の行事に地域の人を招いたり、地域の老人会行事等に参加し交流するように努めている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|-----------------------|---|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見をサービス向上に活かしている</p> | | |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | | |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p> | | <p>言葉による虐待については見過ごされがちなので職員同士不適切な言動が無いが常に意識しお互いに注意し合い防止に努めている</p> |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|-----------------------|--------------------------------|
| 4.理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | リーダー、計画作成担当者の移動は無く、他の職員の移動も最小限にとどめる様に努めている また、代わる場合は個人票等にて申し送りを徹底している | | |
| 5.人材の育成と支援 | | | |
| 19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人研修、中堅研修など段階的に研修を行っている 認知症研修も受講している 施設内研修、伝達研修を実施している | | |
| 20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 月1回管理者が同市のグループホーム連絡会に出席し地域の同業者と交流し意見交換等を行っている 又職員も認知症研修会に参加し他の同業者と交流しサービスの向上のための情報交換を行っている | | |
| 21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 職員反省会等を行っている リーダーがスーパーバイザー的な役割りを担い 職員の悩み事等を聞くように努めている 職員一人ひとりが楽しくいきいきと仕事に取り組めるよう心がけている | | |
| 22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 職員自身が常に努力を惜しまず常に向上心を持って働けるように努めている リーダー、管理者は各職員の勤務状況を把握し日々の業務や職員の状況についても細かく把握し働く気が出る職場作りに努めている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|--------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>入所前情報収集を行い、本人・家族との面談で本人の意思確認や要望・考えを聴き取りケアプランの資料として用い本人が求めている生活が出来るように努めている</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>入居の申請時又は契約時家族の思いを十分に聴き取り受け止めるよう努力している</p> | |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>相談時すぐ施設への入所という形にするのではなく医療的ケアや精神症状、集団生活への適応等を考え他のサービス利用を勧める事もある</p> | |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>利用者の状態に応じて、隣接しているデイサービスやショートステイを利用し、時々グループホームの人と交流しながら徐々に馴染んで頂き入所となる事がある</p> | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>得意としている漬物の作り方など教わったり、食事作りや園芸など協働作業を通じて一緒に生活しているという関係作りをしている</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|---|-----------------------|--------------------------------|
| 28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 利用者の生活を家族に報告する中で、利用者の変化や今の状態を共有し、共に利用者を支援していく関係を築くよう努力している | | |
| 29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 細かく利用者の様子を報告し面会等家族が来園しやすい環境作りを行い良い関係を築けるように努めている 面会が遠のいている方には電話等連絡を入れている | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 医療機関や喫茶店、理美容店等馴染みの場所がある方に対してはそちらを利用するように努めている | | |
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 共有スペースに於いて利用者同士のコミュニケーションを取ったり、作業する事で共に生活しているという一体感を感じて頂けるように努めている | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 施設の行事等の案内を郵送したり、隣接している同福祉会の特養に入所した場合、他の利用者と一緒に過ごす機会を作ったりと関係の継続を行っている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------------|
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居時の聴き取りや家族からの情報により本人の生活様式を把握し、本人の望む生活に近づけるように努めている。又施設での細かい行動は危険の無い限り本人の決定に基づき行って頂いている</p> | |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>入所時の資料を調べたり本人や家族にたずねて把握に努めている</p> | |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>生活暦や入居後の日課、ADL、残存能力を把握し「個人票」「あなたの出番」を作成、職員が利用者を総合的に把握するよう努めている</p> | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>家族や本人の意向・状態により介護計画を作成月1回のカンファレンスや6ヶ月に1回モニタリング(状態の変化が見られる時は必要に応じ、ケース会議、モニタリング)を行って利用者に応じた適切な介護計画を作成している</p> | |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>毎月カンファレンスを行い介護計画を見直し新たな計画を作成している</p> | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|--|-----------------------|---|
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子やケアの実践・気づき等個人記録に記載、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 同福祉会の他施設の行事に家族と共に参加したり、施設所有の田圃での園芸活動や個々の機能に応じた作業を行って貰う等柔軟な支援を行っている | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 施設でのクラブ・行事にボランティアや民生委員の参加、警察による施設周囲の朝夕の見回り、消防署との連携による消防訓練、避難訓練等協力を得て支援している | | |
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 状態の変化によりグループホームでの生活が困難となった場合、特養の入所等利用出来る様支援している | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | | | 将来に向けてデイサービスやショートステイを利用して頂けるよう地域包括支援センターと協働していきたい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--|
| 43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 事業所の医師と相談の上家族の希望を受け入れ今までのかかりつけ医の受診や症状に応じた医療機関に受診出来る様支援している | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 必要に応じて協力医療機関（同福祉会）の精神科医の診察を受けられるよう支援している | | |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 隣接する同福祉会の事業所の看護師と密接に連絡を取り健康管理に努めている | | |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入退院時必要な情報交換を行っている。入院時は頻回に病院を訪問し看護師、医師、家族と面談し情報交換や相談に努めている | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階からかかりつけ医と相談の下、本人や家族が方針を決定する為の情報を提供している | | 現在終末期、重度化に対する備えは特にしていないが、今後必要になると思われる為取組んでいきたいと思う |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 重度化や終末期に向けた支援については本人の状態やホームの体制を勘案し対応可能な範囲を家族に伝える。希望に応じ同福祉会が運営する特別養護老人ホームによる支援を行う | | 事業所として「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医と共にチームとしての支援に取り組んでいくよう検討したい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | | |
| <p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | | |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|-----------------------|--------------------------------|
| 54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の状況に応じ、職員と一緒に調理、盛り付け、配膳、片付け等、楽しく食事が出来るよう工夫している 家庭菜園で収穫した野菜を献立作りに活かしている | | |
| 55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 嗜好調査を行っており好みのものを状況に合わせて楽しめるように支援している | | |
| 56 気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 排泄リズムを理解し昼間は全員オムツを使用せずトイレ介助を行っている。夜間は現在起居動作が困難な方1名のみオムツで対応している | | |
| 57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 基本的には午後に入浴時間を設け入浴を楽しめるように支援している。希望に応じて毎日が可能である | | 体制が整えば夜間入浴も取り組みたい |
| 58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 睡眠パターンを把握している。一人ひとりの生活習慣やその時々状況で昼寝等を考慮している | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの思い、希望、生活歴を理解し「あなたの出番」を作成、支援している。 その都度希望を聞いている | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----------------------|--------------------------------|
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ショッピングの際本人が支払いをしている | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ショッピング、お参り、近くの公園に散歩に出かけている | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 利用者の意見を取り入れ出かけられる機会を作っている。 家族面会時に意見を聞き対応している | | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 自由に行っている | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 家族や馴染みの方が自由に面会されている | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は行っていない | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室には常に出入りができる 玄関はいつも自由に開閉が出来るようになっている | | |
| 67 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 随時見守り声かけを行っている | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 注意の必要な物品は施錠できる場所に保管している 一人ひとりの状態に応じて包丁、鋏等見守り使用されている | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 事故防止対策マニュアルがあり一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでる | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 対策マニュアルに基づき訓練している 看護師により応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | | |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 対策マニュアルに基づき訓練している 火災・地震等避難訓練を消防署の立会いで行っている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|-----------------------|--------------------------------|
| 72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | その都度家族と話し合いを行っている | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 看護師が毎日健康チェックを行っている | | |
| 74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 指示に基づき行っている | | |
| 75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 牛乳・お茶等水分補給、おやつ工夫、音楽療法や作業療法・散歩を通して体を動かす働きかけを行っている | | |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 個人の状態に応じて、毎食後声かけあるいは介助にて口腔ケアを行っている 毎週歯科衛生士が訪問し口腔ケアの指導を行っている | | |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士、看護師と相談しながら対応している 飲用量が少ない時はおやつ、次回の食事を考慮している | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|-----------------------|--------------------------------|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | 感染症マニュアルがありそれに則って対処している | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 食中毒予防の為、排泄後・調理前・食前の手洗いの徹底と調理用具の消毒等衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。毎月のゴキブリ駆除も行っている | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関に生け花を飾ったり建物周囲に花を植えている。花や植物を通して近隣の人と話が出来るように工夫している | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースには季節に応じて生け花やクラブでの作品の展示、写真等を掲示している | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用スペースにはソファや椅子を設置し独りで過ごせる空間や気の合った方との語らいの場を作る工夫をしている | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|--|-----------------------|--------------------------------|
| 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | | |
| 84 | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | | |
| 86 | <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | | |
| 87 | <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p> | | |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月28日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|---|-------|--|
| 事業所番号 | 2774500447 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 泉ヶ丘福祉会 | | |
| 事業所名 | 泉ヶ丘園グループホーム | | |
| 所在地 | 大阪府泉佐野市日根野5565-136 (電話) 072-467-2160 | | |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 カロア | | |
| 所在地 | 大阪府大阪市天王寺区堀越町1-1四天王寺堀越ビル | | |
| 訪問調査日 | 平成20年11月26日 | 評価確定日 | |

【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|------------|---------------|-----------|
| 開設年月日 | 平成12年 4月1日 | | |
| ユニット数 | 2ユニット | 利用定員数計 | 18人 |
| 職員数 | 17人 | 常勤10人, 非常勤7人, | 常勤換算16.1人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|--------|
| 建物構造 | 鉄筋 | 造り |
| | 3階建ての | 1~2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|-----------------|------------|------------|---------|
| 家賃(平均月額) | 25,000円 | その他の経費(月額) | 1,000円 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 無 | 有りの場合償却の有無 | 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 200円 | 昼食 550円 |
| | 夕食 | 450円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり 円 | | |

(4) 利用者の概要(平成20年10月1日現在)

| | | | |
|-------|----------|--------|--------|
| 利用者人数 | 名 | 男性 0名 | 女性 18名 |
| 要介護1 | 0 | 要介護2 | 5 |
| 要介護3 | 7 | 要介護4 | 5 |
| 要介護5 | 1 | 要支援2 | |
| 年齢 | 平均 84.7歳 | 最低 73歳 | 最高 93歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 永山病院 泉佐野記念病院 大野歯科医院 |
|---------|---------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

野山や小川などの豊かな自然に囲まれたホームの中で季節の移ろいを身近に感じながら、それぞれが個々のペースでゆったりとした時間を過ごしておられる姿がとても印象的でした。敷地内には家庭菜園やみかん畑などもあり、食卓は自分たちで育て上げた旬の食材で彩られていました。また、同一法人の老人福祉施設や障害者施設などが隣接されており、相互間の交流も積極的に行われていました。職員研修や個別ケアにも力を注いでおられ、利用者本位のサービス提供を強く意識されていました。また、スタッフの物腰も非常に柔らかく温かみに溢れており、入居者の表情や家族アンケートの結果などからも、強い信頼関係のもと、日々安心した生活を送っておられることが確認されました。

【重点項目への取組状況】

| | |
|------|---|
| 重点項目 | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での重度化や終末期に向けた方針について、今後入居者や家族からのニーズがあれば、住み慣れたホーム内で出来る限り生活が継続できるよう、前向きに取り組んでいきたいと考えておられます。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>権利擁護や虐待防止に関する知識の向上および、地域包括支援センターとの更なる連携強化などを検討されています。</p> |
| 重点項目 | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>ホーム内での行事や取り組みを報告し、参加者からの指摘や意見をサービス向上に活かしておられます。また、各開催時期に見合った勉強会(脱水・ノロウイルス・インフルエンザ予防等)の実施も見られるなど、より良いホームづくりに日々努めておられます。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族会・行事・面会時などに家族の意見を積極的に聴取し、運営に反映されています。また、機関紙や電話などにより、定期的な報告も行っておられます。ホーム内には意見箱の設置や苦情受付担当者の明示もあり、利用者満足に向けた万全の体制が整備されています。</p> |
| 重点項目 | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会行事への参加や、法人行事の際に地域住民との交流を積極的に図っておられます。また、隣接する同一法人のデイサービス利用者などとの交流も日常的に行われており、地域との深く良好な関係を構築されています。</p> |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 和（すこやかに・ゆたかに・なごやかに・あんしん・いたわり・やさしさ）の理念の下、利用者の人格・人権を尊重されています。また、健康・安心・豊かなサービスを提供し抑制の無いやさしい介護を目指します、と方針もしっかりと持っておられます。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念に沿ったサービス計画・サービスの実施が徹底されている上、全職員の名札には「理念」が明示され、就業前には必ず目を通してから業務に就くよう努めておられます。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | グループホーム開設以前から老人福祉施設などの運営をされているため、法人主催の盆踊り大会やバザー等への住民参加や、逆に地域の年中行事や老人会イベント等への参加も見られ、地域との密接かつ良好な関係を構築されています。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 職員会議で全職員が外部評価の意義を理解するとともに、評価結果の指摘事項についての改善を検討されるなど、出来ることから着実に取り組まれています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|---|--|---------------------|---|
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、ホームでの行事や取り組みを報告し、得られた意見や指摘事項をサービス向上や運営に活かしておられます。また、各開催月に見合ったテーマの勉強会を実施されるなど、内容の充実した会議内容となっています。 | | |
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市内のグループホーム運営協議会に参加し、市町村担当者から今後の方向性や意見を積極的に聴取されるなど、サービスの質の向上に取り組んでおられます。 | | |
| 4. 理念を实践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 家族の面会時や電話・法人機関紙・行事（花見・バザー・盆踊り大会等）の際に、個々にあわせた報告をされています。 | | 法人全体の機関紙を定期的に発行されていますが、他にグループホームだよりのなものがあれば、ご家族はより一層喜ばれることと思います。可能であれば、一度ご検討ください。 |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ホーム内に意見箱を設置。また、事業所の相談受付担当者や公共団体の相談窓口が重要事項説明書に明示されています。また、運営推進会議や電話・面会時等に聴取した意見等も運営に反映されています。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動が極力ないよう努めておられます。また、万が一異動が発生した場合にも入居者が不安にならないよう、個人票（個別援助マニュアル）の整備を日ごろから徹底されています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|---------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人研修・中堅研修など、段階に応じた研修を実施。また、外部研修も違った職員がまんべんなく受講できるよう配慮されています。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 市内のグループホーム連絡会に出席し、同業者との交流や意見交換を行っておられます。また、外部研修にも積極的に参加し、サービスの質の向上に取り組まれています。 | | |
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホームに隣接している同一法人のデイサービスやショートステイの利用中に交流の機会があり、ホーム入居後も他のサービス利用者との交流が見られます。ご本人の行動を把握しながら、他者との人間関係を自然に構築できるよう、常に配慮されています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | ご本人の得意なことをしていただくだけでなく、職員も一緒に作業等をされています。また、料理や園芸など個々の得意分野で入居者が主体となって取り組まれています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|---------------------|----------------------------------|
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居者自身やご家族から過去の生活の様子や職歴などを聴取し、個性の把握に努めておられます。また、ホームでの生活は極力ご本人の意思を尊重し、見守る姿勢で援助されています。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>入居者の日ごりの様子でポイントとなる部分をチェックし、ドクターや関係職員と話し合い、また本人・家族の意見も反映された介護計画の作成がなされています。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>月1回のケアカンファレンスと6ヶ月に1回のモニタリングを実施されています。また、状態の変化が見られたときは随時介護計画を見直す体制も整備されています。</p> | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | <p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> | <p>同一法人の他サービスとの交流や連携が盛んで、行事の参加や園芸活動など、ご本人の能力に応じた柔軟な支援が行われています。</p> | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|--|---|---------------------|----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ご本人・ご家族の希望するかかりつけ医への受診や往診が可能となっています。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階からかかりつけ医と相談し、ご本人やご家族が方針を決定するための情報を提供されています。また今後、重度化や終末期に対するケア体制の整備にも積極的に取り組んでいきたいと考えておられます。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 月1回、人権や記録方法に関する研修会を行うことで、プライバシーの確保を徹底されています。また、おむつ外しにも積極的に取り組んでおられ、個人の誇りを常に大切にされています。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な1日の日程はあるものの、入居者一人ひとりの希望や状態・体調に配慮した支援を心がけておられます。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の状況に応じ、職員と一緒に調理・盛り付け・配膳・片付け等、楽しく食事が出るよう工夫されています。また、家庭菜園で収穫した野菜がふんだんに使用された献立となっており、家庭的なぬくもりが感じられました。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴がより楽しいものとなるよう、毎日入浴や夜間入浴も可能となっています。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | ご本人の趣味や性格・職歴などを考慮した「あなたの出番表」を作成し、その時々で有効活用されています。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 個々の希望に応じ、ショッピング・お参り・散歩・敷地内の菜園等への外出支援が日常的に行われています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 居室・玄関には鍵をかけておられません。門扉は治安上施錠されていますが、インターホンでの呼び出しや、入居者ご家族は暗証番号で自由に出入りが可能です。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|------|--|--|---------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署立会いの訓練を年数回実施されるなど、防災への高い意識を持っておられます（法人施設合同2回・ホーム単独1回・夜間想定1回）。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士や看護師と相談しながら、個々に応じた適切な支援を実施。水分提供の機会が1日に9回も設けられている上、食事量が少ない方にはおやつや次の食事で補えるよう十分配慮されています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースには季節に応じた生け花やクラブの作品・写真等を掲示されています。また、窓からは野山や小川・桜の木などが観賞できるなど、ゆったりと居心地よく過ごせるような空間づくりがなされています。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れたタンスなどの持ち込みが可能です。また、写真や楽器・趣味の道具なども見られるなど、居心地よく過ごせるように工夫されています。 | | |

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。